

佐野美術館が昭和初期の日本家屋修繕の資金調達を目的としたクラウドファンディングを開始

# 登録有形文化財の日本家屋 「りゅう せん えん隆泉苑」改修にご支援を

## プロジェクト概要

昭和41年(1966)に開館した公益財団法人佐野美術館(所在地:静岡県三島市、代表:渡邊妙子)は、この度、創立者・佐野隆一(1889-1977)が両親の隠居所として昭和初期につくった隆泉苑(国の登録有形文化財)の屋根の劣化により雨漏り等が生じ修繕が急務であることから、大規模な修理プロジェクトを立ち上げ、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて、第1期工事実施のために必要な資金調達を試みる。

- タイトル: 登録有形文化財の日本家屋「隆泉苑」改修にご支援を  
募集期間: 2022年5月10日[火] 10:00 ~ 6月30日[木] 23:00 52日間  
目標金額: 第1期/1,800万円 (第1~3期を予定し、最終目標金額は5,900万円)  
プロジェクト形式: All or Nothing  
ウェブサイト: <https://readyfor.jp/projects/sanobi2022>  
資金用途: 日本家屋「隆泉苑」の改修費、手数料、その他諸経費  
リターン例(一部): 隆泉苑の瓦への名入れ、隆泉苑貸切、収蔵作品の特別鑑賞 など

## 佐野美術館について

佐野美術館は、東海道の宿場町として古くから栄えた静岡県三島市において昭和41年(1966)11月に開館しました。創立者の佐野隆一(1889-1977)は化学工業の先覚者として近代日本の発展に貢献した実業家です。ふるさと三島をこよなく愛し、美術品を通じて子どもたちが創造力を育むことを願い、美術館をつくりコレクションを寄付しました。

活動の中心である展覧会は、年に6~7回開催。内容は、絵画、工芸、写真、現代作家まで多彩です。世代を超えて家族で楽しめる絵本原画展、近年コレクションがより充実した人形や雛飾り、そして開館以来毎年欠かさず開催してきた刀剣展。市民がいつでも足を運び鑑賞したくなるよう、展覧会の企画に力を入れるとともに、近隣の学校への出張授業などを行い芸術に親しんでもらうための普及活動をしています。

## 隆泉苑とは

昭和初期に、佐野美術館の創立者である佐野隆一が両親の隠居所としてつくった回遊式の庭園と邸宅です。「隆泉苑」の名は、佐野家遺族より美術館に寄贈された昭和52年(1977)に、隆一の「隆」、三島にこんこんと湧く「泉」からつけられました。

四季折々の表情豊かな庭園は来館者や市民の憩いの場として親しまれ、建物は展覧会関連イベントをはじめ、茶会、賛助会員向け鑑賞講座、通年の刀剣講座、博物館実習の会場と、様々な形で活用されています。

日本の伝統建築の粋を集めた建物は、書院の間、数寄屋の間、洋間を備え、表門とともに平成9年(1997)に国の登録有形文化財となりました。

吟味された建材は約90年を経た現在まで良好に維持されてきましたが、屋根の瓦と下地の劣化により近年雨漏りが発生し、天井や壁に被害をもたらしており、大規模な修繕が急務となっています。

## クラウドファンディングとは

インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した方や活動を応援したい方から資金を募るしくみです。この度のプロジェクトは、All or Nothingというルールで、もしも目標金額に達せず不成立となった場合、支援金は全て支援者に返金されます。

## お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢・西脇

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790 EMAIL [koho@sanobi.or.jp](mailto:koho@sanobi.or.jp)